

技術課

技術課

分子科学研究所は、昭和50年に創設され、同時に、技術分野での研究支援を目的として技官を組織した技術課が発足しました。技術課は所長直属の技術者組織であり、各個人のもつ高い専門的技術により研究者が研究しやすい環境をつくり、研究に専念できるように支援しています。

具体的には、

高度な知識を要求される共通実験機器および施設・設備の維持管理。機械・電子回路・理化学ガラス工作、プログラミングなどの専門的技術で直接に支援する。研究室で研究を直接支援する。研究所の安全衛生管理。ネットワークの運用管理。ホームページや各種印刷物を媒体とした広報活動。見学の受け入れ対応。見学受け入れは研究所を直接紹介するための有効な手段と位置づけています。



(前列左から2番目から)鬼武尚子、野川京子、加茂恭子、加藤清則、杉山加余子、大原恭子、鶴田由美子
他の人は各研究部門、付属施設の欄参照

技術課の役割は研究の動向により変化していくので、幅広く柔軟に技術支援体制を構築していきます。また、研究しやすい環境を作るために、技術課とリンクした受付機能も重要になります。来訪者への窓口としての役割だけでなく、所内の研究者の窓口として機能していくようにしています。

技術課の役割は研究の動向により変化していくので、幅広く柔軟に技術支援体制を構築していきます。また、研究しやすい環境を作るために、技術課とリンクした受付機能も重要になります。来訪者への窓口としての役割だけでなく、所内の研究者の窓口として機能していくようにしています。

2005年4月1日に、上記の観点から技術課の体制を変更しました。書類上の所属と勤務している職場が異なる、というねじれた関係を改めました。その結果、係数は13のままですが、班が2班増えて7班になりました(下記参照)。当面は、この体制で業務を進めていきます。

技術課では研究の動向、高度化する技術に対応するために、特に、外部の技術者との交流を通して外部(新)技術の吸収及び既知技術の向上を目指しています。

(1) 技術研究会

技術課発足時より、外部技術者組織との専門的技術の交流の場として、また分子研にない技術を取得する場として研究会を開催してきました。技術研究会の一つの特徴は、いろいろな失敗を積極的に発表しあうことです。つまり、「新しいことを行うのだから当然失敗はある。それらの失敗を公開して共有することで、同じ過ちを繰り返さないことができる。また、失敗のなかには将来の新しい技術の芽が隠れていることもある」という積極的な意味を持っています。そのような趣旨で始まった小さな技術研究会も今では、数百人規模の研究会に成長しています。

(2) 人事交流

分子科学研究所と他の共同利用研究所や大学の技術者同士が、数年間所属を移してそれぞれの機関の業務を行います。それぞれの機関で発展させ機関固有の技術になっている技術を会得する

ことで、技術者個人の技術の幅を広げ、かつ分子研の保有する技術の幅を広くする役目を担っています。

(3) 技術研修

分子科学研究所では、大学などの技術者を短期間だけ受け入れて、共同作業を行ったり相互に技術教育を行い技術向上を図っています。

(4) 資格取得

装置や施設の管理や運営を行うには、多くの資格が必要です。技術課員が取得している資格の種類だけでも、37種類あります。大学共同利用機関法人では、労働安全衛生法関係の国家資格・講習資格も必要です。技術職員は、業務上必要な資格を取得することで研究所の運用に積極的に関わっています。

大学共同利用機関法人になってから、安全衛生・防災の分野で、岡崎に設置されている3研究所 分子科学研究所・基礎生物学研究所・生理学研究所 の技術課の協力関係は強くなってきました。これからは、安全衛生以外の分野でも関係をより深めていこうと考えております。

参考：技術課の体制（2005.4.1）

一班（機器開発技術班）	機器開発技術一係 機器開発技術二係
二班（電子機器・ガラス機器開発技術班）	電子機器開発技術係 ガラス機器開発技術係
三班（極端紫外光技術班）	極端紫外光技術一係 極端紫外光技術二係 極端紫外光技術三係
四班（光計測技術班）	光計測技術係
五班（計算科学技術班）	計算科学技術一係 計算科学技術二係
六班（ナノサイエンス技術班）	ナノサイエンス技術一係 ナノサイエンス技術二係
七班（研究・広報技術班）	研究・広報技術係

広報担当

研究所に関する広報活動は広報委員会が中心となって行っている。広報委員会の主な活動は、公式ホームページの作成・運営・管理、各種出版物の作成、研究会やセミナーのポスター作成である。法人化に伴い研究所は研究内容やその成果を広く理解してもらうことが、益々重要になってきており、今後さらに情報発信機能の強化・整備を予定している。



（後列左から）松本吉泰、横山利彦
（前列左から）原田美幸、中村理枝